

四半期連結財務諸表

四半期連結貸借対照表(要約)

(単位：百万円)	当第2四半期 連結会計期間	前連結 会計年度
流動資産	179,208	170,098
固定資産	117,485	110,164
① 資産合計	296,693	280,262
流動負債	68,801	63,506
固定負債	19,732	19,406
② 負債合計	88,533	82,912
③ 純資産合計	208,159	197,350
負債純資産合計	296,693	280,262

四半期連結損益計算書及び 四半期連結包括利益計算書(要約)

(単位：百万円)	当第2四半期 連結累計期間	前第2四半期 連結累計期間
④ 売上高	125,640	111,486
売上総利益	33,147	26,662
販売費及び 一般管理費	21,418	20,337
⑤ 営業利益	11,729	6,324
経常利益	12,255	6,204
税金等調整前 四半期純利益	12,523	6,234
⑥ 親会社株主に帰属する 四半期純利益	8,792	4,159
四半期包括利益	13,592	2,526

■ ポイント!

① 資産合計

「受取手形、売掛金及び契約資産」などが減少しましたが、「有形固定資産」「棚卸資産」「流動資産その他」などが増加したことにより、総資産は164億30百万円増加しました。

② 負債合計

「流動負債その他」などが増加したことにより、負債は56億21百万円増加しました。

③ 純資産合計

「利益剰余金」「為替換算調整勘定」などが増加したことにより、純資産は108億8百万円増加しました。

④ 売上高

収益認識会計基準の適用により、オプティカル材事業部門が大幅に減少しましたが、アドバンスマテリアルズ事業部門が好調に推移したほか、そのほかの事業部門も需要が回復したことなどにより、売上高は141億54百万円増加しました。

⑤ 営業利益

電子・光学関連の増益に加え、印刷材・産業工材関連が黒字化したことなどにより、営業利益は54億4百万円増加しました。

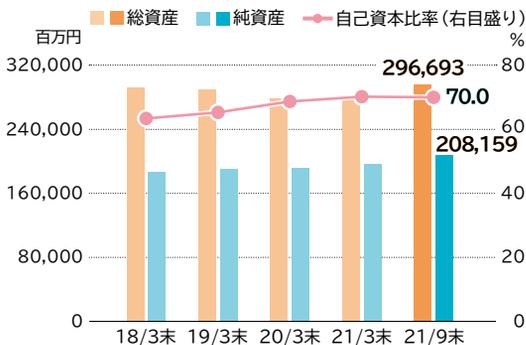
⑥ 親会社株主に帰属する 四半期純利益

営業利益の増加に加え、為替差益や米子会社買収に伴う負ののれん発生益の計上などにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は46億33百万円増加しました。

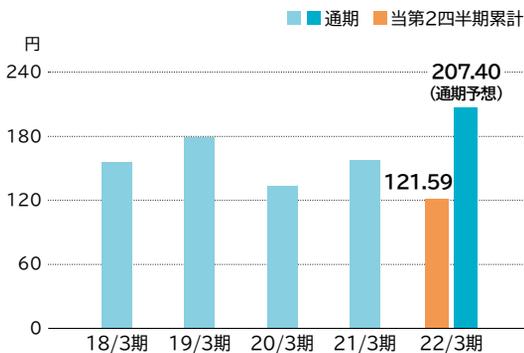
四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位：百万円)	当第2四半期 連結累計期間	前第2四半期 連結累計期間
営業活動による キャッシュ・フロー	15,448	13,775
投資活動による キャッシュ・フロー	△7,553	△2,869
財務活動による キャッシュ・フロー	△3,996	△4,677
現金及び現金同等物の 四半期末残高	63,185	57,845

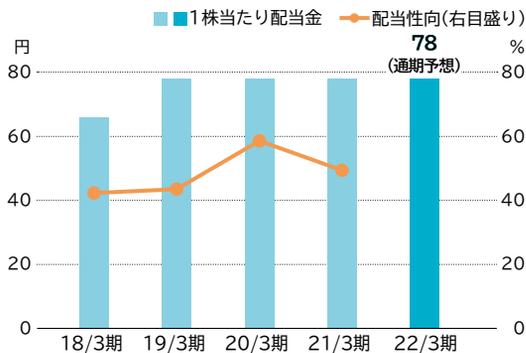
総資産・純資産・自己資本比率



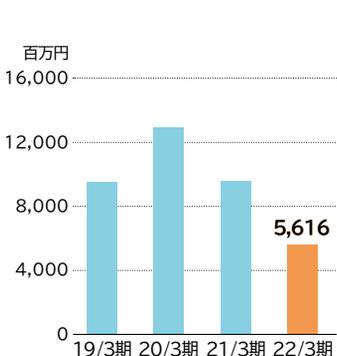
1株当たり四半期(当期)純利益



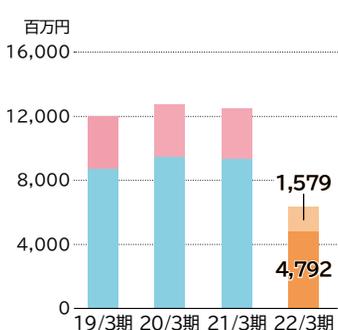
1株当たり配当金・配当性向



設備投資額



減価償却費 のれん償却額



研究開発費



印刷材・産業工材関連

売上高 **642億39**百万円 (16.3%増)

営業利益 **11億50**百万円 (ー)



当セグメントの事業部門別の売り上げの概況は次のとおりです。

印刷・情報材事業部門 売上高 **486億49**百万円 (15.0%増)

主要製品

- シール・ラベル用粘着紙・粘着フィルム
- バーコードラベル用粘着紙・粘着フィルム

シール・ラベル用粘着製品は、国内では化粧品や飲料キャンペーン用などの需要は低調だったものの、食品や家電、自動車、通販関連の需要が堅調に推移しました。海外では米国や中国、アセアン地域において好調に推移しました。この結果、当事業部門の売上高は前年同期に比べ増加しました。



産業工材事業部門 売上高 **155億89**百万円 (20.4%増)

主要製品

- 自動車用粘着製品
- 工業用粘着テープ
- ラベリングマシン
- ウィンドーフィルム
- 屋外看板・広告用フィルム
- 内装用化粧フィルム

国内外ともに自動車用粘着製品やウィンドーフィルム、装飾用フィルムなどの需要が大きく回復したほか、通販向け装置についても好調に推移しました。この結果、当事業部門の売上高は前年同期に比べ増加しました。



※ 2022年3月期の期首よりマックタック・アメリカ社の産業工材事業部門に関わる全ての製品を印刷・情報材事業部門へ移管しました。

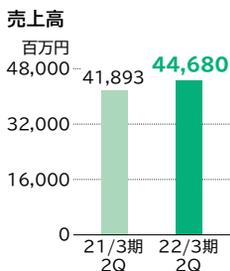
※ セグメント別の営業利益および営業利益構成比は、セグメント間取引消去前の数値に基づいています。

※ ()内は前年同期比

電子・光学関連

売上高 **446億80**百万円 (6.7%増)

営業利益 **95億39**百万円 (43.9%増)



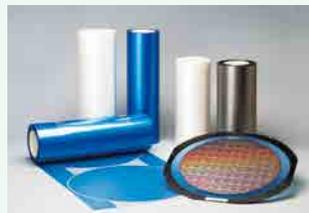
当セグメントの事業部門別の売り上げの概況は次のとおりです。

アドバンスマテリアルズ事業部門 売上高 **329億8**百万円 (25.3%増)

主要製品

- 半導体関連粘着テープ
- 半導体関連装置
- 積層セラミックコンデンサ関連テープ

半導体関連粘着テープや関連装置、積層セラミックコンデンサ関連テープは、5G対応のスマートフォンやカーエレクトロニクス、テレワーク拡大に伴うパソコンなどの需要増加により好調に推移しました。この結果、当事業部門の売上高は前年同期に比べ増加しました。



オプティカル材事業部門 売上高 **117億71**百万円 (24.7%減)

主要製品

- 偏光フィルム／粘着加工
- タッチパネル関連製品

光学ディスプレイ関連粘着製品は、大型テレビ用やスマートフォン用などの需要が増加したことにより堅調に推移しました。なお、収益認識に関する会計基準適用の影響を受け、当事業部門の売上高は前年同期に比べ大幅に減少しました。



※ 2022年3月期の期首より洋紙・加工材関連の一部製品を電子・光学関連へ移管しました。2021年3月期第2四半期の実績は組み替えて記載しています。

洋紙・加工材関連

売上高 **167億20百万円** (16.5%増)

営業利益 **10億8百万円** (68.4%増)



当セグメントの事業部門別の売り上げの概況は次のとおりです。

洋紙事業部門 売上高 **75億51百万円** (8.4%増)

主要製品

- カラー封筒用紙
- 色画用紙
- 特殊機能紙
- 高級印刷用紙
- 建材用紙

主力のカラー封筒用紙は前年同期並みだったものの、クリーンルームなどで使用される工業用特殊紙やファストフード向け耐油耐水紙の需要が回復しました。この結果、当事業部門の売上高は前年同期に比べ増加しました。



加工材事業部門 売上高 **91億69百万円** (24.2%増)

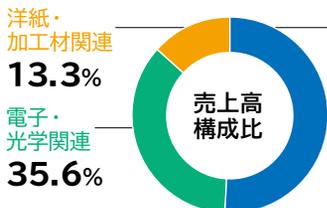
主要製品

- 粘着製品用剥離紙
- 光学関連製品用剥離フィルム
- 合成皮革用工程紙
- 炭素繊維複合材料用工程紙

合成皮革用工程紙は車両用の需要が大幅に回復しました。また、電子材料用剥離紙やスポーツ・レジャー用の炭素繊維複合材料用工程紙も順調に推移しました。この結果、当事業部門の売上高は前年同期に比べ増加しました。



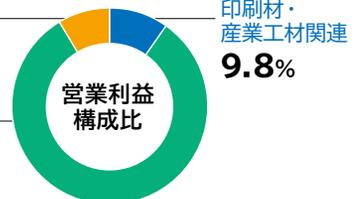
※ 2022年3月期の期首より洋紙・加工材関連の一部製品を電子・光学関連へ移管しました。2021年3月期第2四半期の実績は組み替えて記載しています。



印刷材・産業工材関連 **51.1%**

洋紙・加工材関連 **8.6%**

電子・光学関連 **81.6%**



株式情報 (2021年9月30日現在)

株式の状況

発行可能株式総数	300,000,000株
発行済株式の総数 (ただし自己株式4,334,372株を除く)	72,325,068株
単元株式数	100株
株主数	6,189人

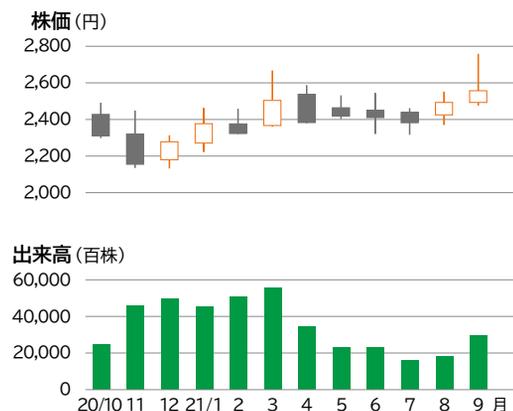
大株主の状況 (上位10人)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本製紙株式会社	21,737	30.05
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	6,519	9.01
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	3,636	5.02
全国共済農業協同組合連合会	2,625	3.62
庄司 たみ江	1,796	2.48
株式会社かんぼ生命保険	1,715	2.37
塩飽 恵以子	1,543	2.13
リンテック従業員持株会	1,095	1.51
株式会社日本カストディ銀行(信託口7)	842	1.16
塩飽 一誉子	803	1.11

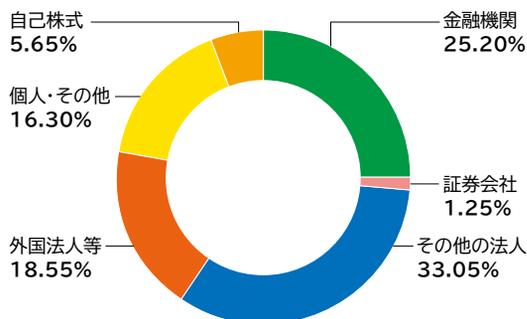
注1. 当社は自己株式4,334,372株を保有しておりますが、上記表からは除外しております。

注2. 持株比率の算定に当たっては、自己株式を控除して計算しております。

株価および出来高の推移 (2020年10月~2021年9月)



所有者別分布比率



会社概要 (2021年9月30日現在)

社名	リンテック株式会社 (英文: LINTEC Corporation)
本社	東京都板橋区本町23-23
設立	1934年10月15日
資本金	233億2,095万411円
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
従業員数	連結: 4,913人 単体: 2,618人 (2021年3月31日現在)
事業所	営業拠点: 東京、札幌、名古屋、大阪、福岡など全国11か所 生産拠点: 吾妻(群馬県)、熊谷・伊奈(埼玉県)、千葉(千葉県)、 龍野・新宮(兵庫県)、小松島(徳島県)、三島・土居・新居浜(愛媛県) 研究拠点: 蕨・さいたま(埼玉県) 海外事務所: ハノイ(ベトナム)
連結子会社	国内: 3社 海外: 39社

株主メモ

定時株主総会	6月
配当基準日	期末: 3月31日 中間: 9月30日
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内1-4-5 三菱UFJ信託銀行株式会社 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
・郵便物送付先	
・フリーダイヤル	☎ 0120-232-711
・ホームページアドレス	www.tr.mufg.jp/daikou

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申し出先について
株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申し出ください。

未払配当金の支払いについて
株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申し出ください。

法定公告掲載ホームページアドレス
www.lintec.co.jp/ir/stock/koukoku.html



● 本社 〒173-0001 東京都板橋区本町23-23
URL www.lintec.co.jp

IRメール配信サービス
のお知らせ



当社では新製品情報なども含め、株主・投資家の皆様へさまざまなニュースを幅広くお届けするためにIRメール配信サービスをご提供しています。配信をご希望の方は、当社IR情報サイトよりご登録をお願いいたします。

www.lintec.co.jp/ir



※スマートフォンなどで上記の二次元コードを読み取ると、登録ページへ簡単にアクセスできます。

社名の由来は、リンケージ(結合)とテクノロジ(技術)。ロゴマークは、地球を表す楕円にLINTEC・LINKAGE(結合)・LOYALTY(誠実)の三つの「L」で表現したウェーブ(波)を組み合わせでデザイン。世界を舞台に飛躍していこうという決意を込めています。



ユニバーサルデザイン(UD)の考えに基づいた見やすいデザインの文字を採用しています。

発行 広報・IR室 2021年12月
TEL. (03) 5248-7741
FAX. (03) 5248-7754